

# 本庄市行政改革大綱実施計画における『自己評価の判定区分』の変更について

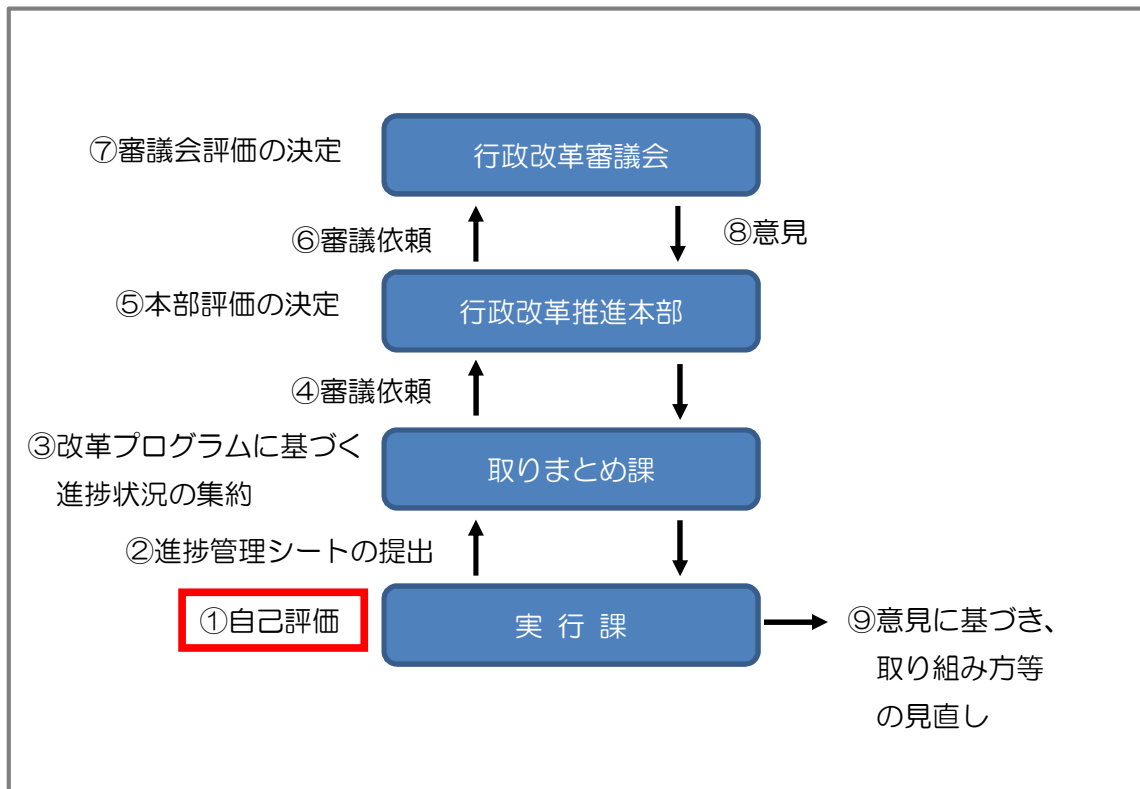
H31. 1. 15

## (1) 実施計画の概要

平成 30 年度から新たにスタートした本庄市行政改革大綱実施計画（平成 30～34 年度）（以下、実施計画という）においては、行政改革の着実な推進を図るため、各計画の実行課は毎年度の取組状況を進捗管理シートにより報告し、報告については、年度内に中間報告（4～9 月の上半期）及び最終報告（1 年間）の 2 回行うことと規定されています。

また、今回の実施計画においては、以下のイメージ図のとおり新たに評価システムを取り入れており、実行課は自身の取り組みに対し、その進捗状況や達成状況について「自己評価」を行い、その評価に対して行政改革推進本部が総合的な評価を下し、その後、行政改革審議会において審議いただき、そこでの意見を最終的な評価としているところです。

〈イメージ図〉評価の流れ（実施計画 P. 2）



## (2) 『自己評価の判定区分』の変更について

### ① 現行の『自己評価の判定区分』について

実行課が行う「自己評価」の判定区分について、実施計画においては以下のとおり規定されています。

【現行】（実施計画 P. 2）

自己評価区分		定義
達成	終了	改革の成果が得られたと判断し、改革を終了する
	継続	改革の成果が得られたと判断し、継続して実施する
実行中	順調	改革が順調に進んでいる
	再検討	改革を実行したものの、課題等があり、再度検討を行っている
	取り下げ	改革の達成が困難と判断し、改革の手段等を見直す
検討中		改革を実行する前の段階

※取り組んでいた計画が達成（終了）した実行課については、新しい計画を取り入れるなど、不断の改革に取り組んでいきます。

【現行の問題点】

- ・ 現状と完全に一致する判定区分がない。  
（例）計画進行中の場合の進捗状況を表す選択肢が「順調」しかないため、計画以上のスピードで進んでいるものも、少し手を付けただけのものも、全て「順調」になってしまう。
- ・ 「検討中」と「再検討」について、表現が似すぎて定義を見ないと違いが分からない。
- ・ 判定区分と定義の表現がマッチしていない。  
（例）取り下げ→改革の手段等を見直す  
検討中→改革を実行する前の段階
- ・ 判定区分の種類が一つしかない（年度目標に対する自己評価しか想定していない）。つまり、改革（計画全体について）の進捗・達成状況に対する判定区分がないため、計画が終了したのか、次年度も継続するのか分からない。
- ・ 年度目標に対する自己評価についても、中間報告では進捗状況、最終報告では達成状況を評価するのが本来のため、判定区分は二種類必要である。

### ② 『自己評価の判定区分』の変更案について

これらの問題点を解決するため、まずは自己評価を行う「時期」と「内容」に応じて、自己評価の対象を次の3つに整理・分類しました。

1. 各年度中間時点での年度目標の進捗状況
2. 各年度末時点での年度目標の達成状況
3. 各年度末時点での改革の進捗・達成状況

その上で、3つの評価対象に応じた判定区分を設けることとしました。以下がその変更案です。

## 【変更案】

### < I 年度目標の進捗・達成状況について >

#### < i > 年度目標の進捗状況に対する自己評価判定区分（各年度中間時点）

中間自己評価判定区分	定義
達成	年度目標を達成した
計画より早い	年度目標に対して計画以上のペースで取り組んでいる
計画通り	年度目標に対して計画通りに取り組んでいる
計画より遅れている	年度目標に対して取り組みを進めているものの、計画よりペースが遅い
再検討	取り組みを進めていく中で、年度目標の達成が困難と判明したため、手法等を再検討している
未着手	取り組み自体に着手していない
中止	取り組みを進めていく中で、改革の達成が困難と判明したため、計画を中止する

#### < ii > 年度目標の達成状況に対する自己評価判定区分（各年度末時点）

最終自己評価判定区分	定義
達成	年度目標を達成した
未達成	年度目標を達成できなかった
未実施	取り組み自体を実施しなかった
中止	取り組みを進めていく中で、改革の達成が困難と判明したため、計画を中止した

### < II 改革の進捗・達成状況について >

#### 改革の進捗・達成状況に対する自己評価判定区分（各年度末時点）

自己評価判定区分	定義	
改革達成	計画終了	改革達成により計画終了とする
	計画継続	改革は達成したが、今後も行政改革として実施すべき内容であるため、次年度以降も継続して計画に取り組む
	定型業務へ	改革達成により計画終了とするが、今後も継続して実施すべき内容であるため、次年度以降は定型業務として取り組む
次年度継続	計画通り	計画で掲げた目標年度での改革達成に向けて、次年度も継続して計画に取り組む
	目標年度延長	計画で掲げた目標年度では改革の達成ができなかったため、目標年度を延長し、次年度も継続して計画に取り組む
取り下げ	改革の達成が困難と判明したため、計画を取り下げる	

※取り組んでいた改革が達成（終了）した実行課については、新しい計画を取り入れるなど、不断の改革に取り組んでいきます。

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！  
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

**現 行**

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動	
取りまとめ課	企画課		
計画名			
実行課	〇〇課	改革達成年度（目標）	平成〇〇年度

内 容	
改革の手段	
改革により期待される効果	

【平成〇〇年度 実施内容】

年度目標	
中間報告	
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の取組）	
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！  
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

変更後イメージ

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動	
取りまとめ課	企画課		
計画名			
実行課	〇〇課	改革達成年度（目標）	平成〇〇年度

内 容	
改革の手段	
改革により期待される効果	

【平成〇〇年度 実施内容】	
年度目標	
中間報告	※年度目標の進捗状況について(各年度中間時点)
中間自己評価	達成・計画より早い・計画通り・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	
最終報告	
取組効果	※年度目標の達成状況について(各年度末時点)
最終自己評価	達成 ・ 未達成 ・ 未実施 ・ 中止
次年度に向けた 取組方針	

※改革の進捗・達成状況について(各年度末時点)

改革の進捗・達成状況(各年度末時点)

自己評価 改革達成(計画終了・計画継続・定型業務へ) / 次年度継続(計画通り・目標年度延長) / 取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意見		

### (3) 今後のスケジュールについて

#### ○変更スケジュール（予定）

日 程	内 容
1月15日 (本日)	第3回審議会において、変更案について審議。 →承認後確定。
2～3月	実施計画一部改訂（自己評価判定区分の変更）。
4月～	H30進捗管理シートにおける最終取組報告から、変更後の自己評価判定区分を使用。

MEMO